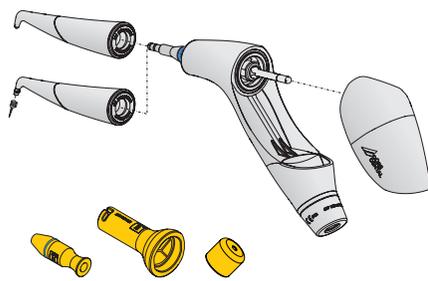


LUNOS® Powder Jet

LUNOSパウダージェット
歯科用歯面清掃器

再生処理マニュアル

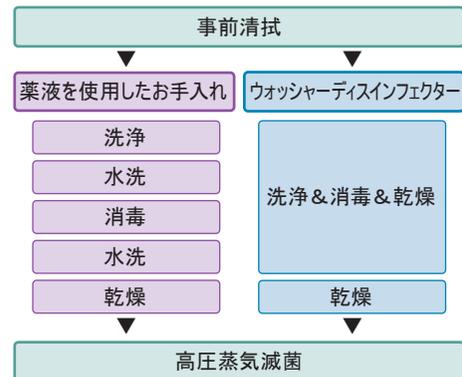


詳細は取扱説明書をご覧ください



お手入れの方法／再生処理

本機のお手入れ／再生処理は以下の通り「薬液を使用したお手入れ」か「ウォッシャーディスインフェクター」で行った後、高圧蒸気滅菌器で滅菌を行います。(ドイツRKIガイドラインの分類で、縁下用ノズルは「クリティカル」それ以外は、「セミクリティカルB」になります。)



事前清拭

事前清拭は使用後15分以内に行ってください。

- 事前清拭を行う前にパウダーを除去してください(取扱説明書「9.3 使用済パウダーの除去」を参照)。
- 事前清拭は薬液を使用しお手入れおよびウォッシャーディスインフェクターの前に実施する必要があります。
- 全ての部品を洗浄除菌用のワイブやワットで拭き取ってください。以下のデュールデンタル社製品のご使用を推奨します。
FD366 センシティブ/センシティブワイブ
FD322 除菌ワイブ
FD350 除菌ワイブ
- 上記の薬液を使用する際は、清拭した表面が眼に見えて濡れている状態を保ち、作用時間放置します。乾拭きしないでください。



- パウダーコンテナが空であることを確認し、上部と下部のOリングを取り外します。

薬液を使用したお手入れ

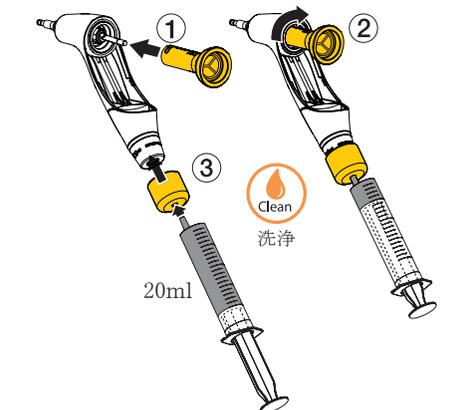
洗浄と消毒工程には、洗浄と除菌が同時にできるデュールデンタルの「ID212/ID213インストゥルメント・器具の洗浄除菌」の希釈液を使用してください。

洗浄

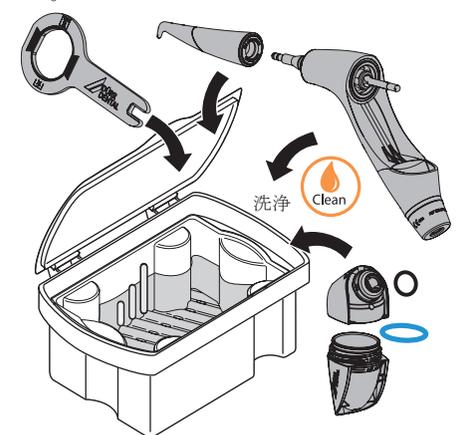
ノズルの洗浄除菌用のアダプターを装着して、「ID212/ID213」の希釈液(20mL)をシリンジで通します(1回)。



本体にストッパーと洗浄除菌用アダプターを装着します。「ID212/ID213」の希釈液(20mL)をシリンジで通します(1回)。その後アダプターは外します。

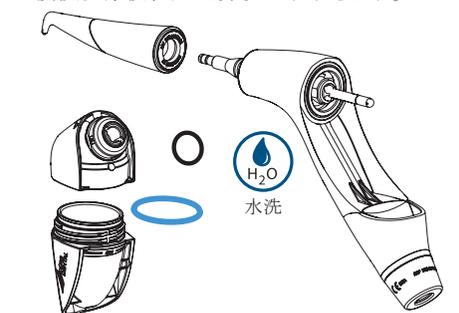


各部品を「ID212/ID213」の希釈液に浸漬して、部品が完全に浸漬されている事を確認します。作用時間(最大2時間)を守ってください。

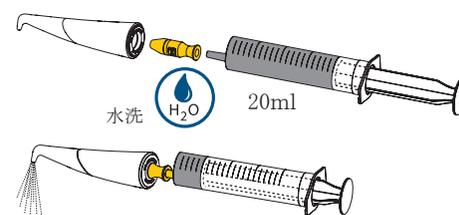


水洗

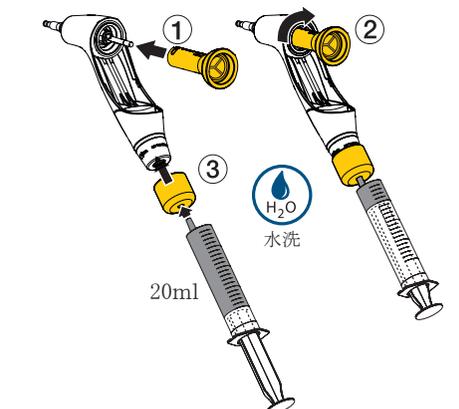
浸漬洗浄後、水で1分以上すすぎます。



ノズルの洗浄除菌用のアダプターを装着して、シリンジで水を通します(1回)。

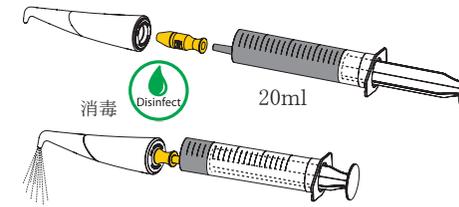


本体にストッパーと洗浄除菌用アダプターを装着します。シリンジで水を通します(1~2回)。

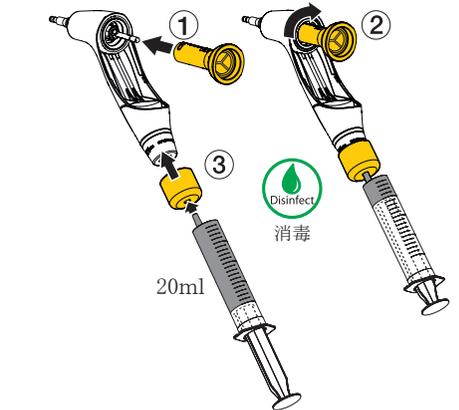


消毒

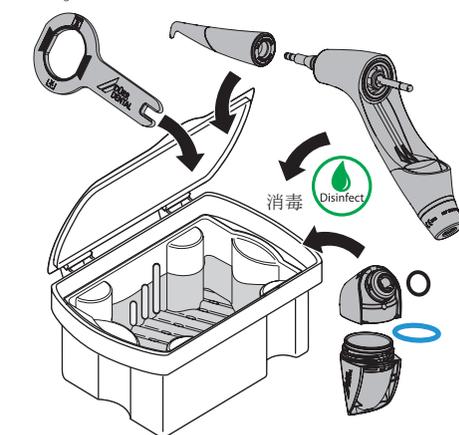
ノズルの洗浄除菌用のアダプターを装着して、「ID212/ID213」の希釈液(20mL)をシリンジで通します(1回)。



本体にストッパーと洗浄除菌用アダプターを装着します。「ID212/ID213」の希釈液(20mL)をシリンジで通します(1~2回)。その後アダプターは外します。



各部品を「ID212/ID213」の希釈液に浸漬して、部品が完全に浸漬されている事を確認します。作用時間(最大2時間)を守ってください。

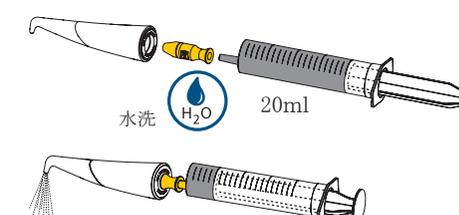


水洗

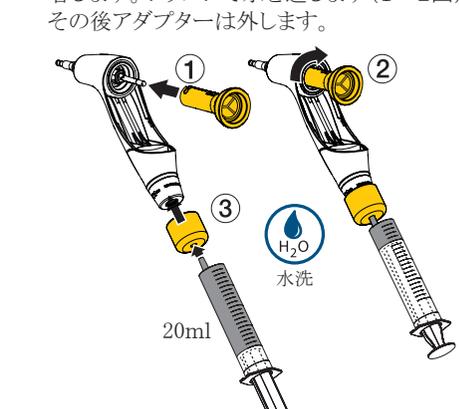
浸漬洗浄後、水で1分以上すすぎます。



ノズルの洗浄除菌用のアダプターを装着して、シリンジで水を通します(1回)。



本体にストッパーと洗浄除菌用アダプターを装着します。シリンジで水を通します(1~2回)。その後アダプターは外します。

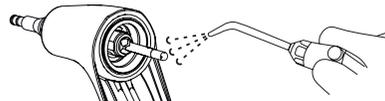


乾燥 ▼

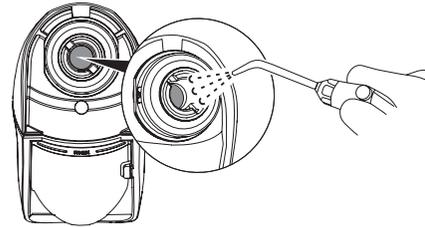
- ▶ 清潔な場所で必要に応じて、糸くずの出ない衛生的な布（マイクロファイバークロスなど）やエアールを用いて、乾燥させます。
- ▶ ノズルの接続部を乾燥させます。



- ▶ パウダー吸引ノズルを乾燥させます。



- ▶ パウダーコンテナ上部（シリコン弁）を乾燥させます。



機能の確認

- 洗浄と消毒が終了したら、部品に汚れや水分が残っていないか確認してください。必要に応じて、洗浄と消毒を繰り返し行ってください。
- 部品やリングに損傷が無いか確認して、必要に応じて交換してください。
- 本体とノズルに残った水分を取り除くために、ストッパーを装着した状態で約10秒間空回しします（取扱説明書「6.3 本体の接続」を参照）。
- 乾燥および機能の確認後に滅菌してください。（取扱説明書「10.6 高圧蒸気滅菌」を参照）。

▶ ウォッシャー・ディスインフェクター

自動洗浄・消毒には、以下の特性と検証されたプロセスがあるウォッシャー・ディスインフェクター（WD）が必要です。

- ISO15883対応もしくは準拠したテストをされた機器
- 熱消毒の認定プログラム（A₀値 ≥ 3000または93℃で5分以上）。
- 熱消毒プログラムが本機に適しており、十分なすすぎサイクルを有している。

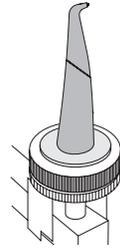
洗浄剤の選定

以下の特性が求められます。

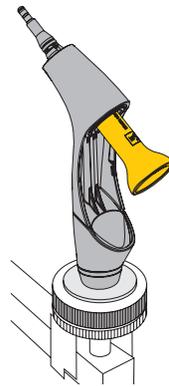
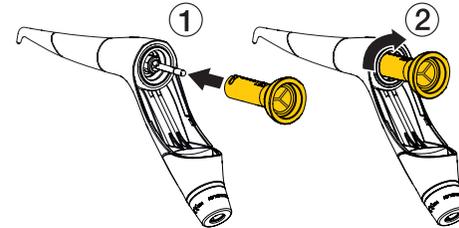
- 本製品と材質適合性があるもの
- ご使用のWDに対応していること（WDメーカーに確認してください）

洗浄 & 消毒 & 乾燥 ▼

- ▶ ノズルをWDの専用アダプターに装着します（例：Miele: ADS3 φ22mm、またはMELA therm10用MELAGユニバーサルアダプター、アイテム番号73904）。



- ▶ 本体のパウダー吸引ノズルにストッパーを装着して、WDの専用アダプターに装着します。



- ▶ パウダーコンテナの上部と下部の黒と青のリングをバスケットに入れます。部品が互いに接触しないようにして、開口部が下を向くようにします。すすぎの際にすすぎ残しが起きないように確認してください。



乾燥 ▼

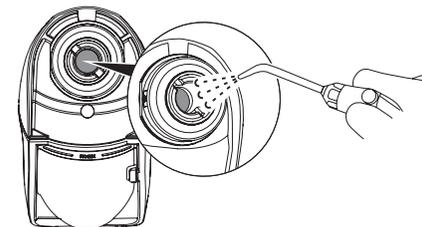
- ▶ 清潔な場所で必要に応じて、糸くずの出ない衛生的な布（マイクロファイバークロスなど）やエアールを用いて、乾燥させます。
- ▶ ノズルの接続部を乾燥させます。



- ▶ パウダー吸引ノズルを乾燥させます。



- ▶ パウダーコンテナ上部（シリコン弁）を乾燥させます。



機能の確認

- 洗浄と消毒が終了したら、部品に汚れや水分が残っていないか確認してください。必要に応じて、洗浄と消毒を繰り返し行ってください。
- 部品やリングに損傷が無いか確認して、必要に応じて交換してください。
- 本体とノズルに残った水分を取り除くために、ストッパーを装着した状態で約10秒間空回しします（取扱説明書「6.3 本体の接続」を参照）。
- 乾燥および機能の確認後に滅菌してください。

▶ 高圧蒸気滅菌

部品が重ならないようにトレーに入れます。縁下用ノズルのみ、滅菌パックに包装します。



- ⚠ **警告**
各部品が装着された状態では蒸気が届かないため、Oリング等の部品は必ず分解した状態で滅菌してください。

滅菌に実施するプログラム

121℃:20分 | 132℃:4分以上 | 134℃:5分以上
*138℃を超えないこと

包装

規格に準じた透明紙フィルム製の滅菌パックのみを使用してください（138℃までの耐温度性、ISO11607-1/2準拠、EN868の適用部分）。滅菌パックは十分な大きさが必要です。無理に詰め込まないように留意してください。

高圧蒸気滅菌器の要求事項

EN13060またはEN285/ANSI AAMIST79に対応していること。十分な乾燥工程が搭載されていること。本機の構造に適したプログラム（例：中空構造のある本体やノズルの場合、3つの真空ステップでの手順）。ISO17665に準拠して検証されたプロセス（有効なIQ/OQおよびPQ）。

- ⚠ **警告 機器の破損の恐れ**
高圧蒸気滅菌器のみ使用可能です。製造元の使用説明書に従って使用してください。

10.7 再生処理後の保管

以下の保管条件に従ってください。

- 汚染や埃からの保護（キャビネットなど）
- 湿気および過度の温度変化からの保護

滅菌パックは、特定の事故や時間の経過によって損傷を受ける可能性があります。保管条件を設定する際には、外部からの汚染の可能性を考慮してください。